

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりになき緊張感

考えよう柏の防災
Ka・Ka・Bou



ヒマワリはまちのシンボルです

2025(令和7)年1月15日/第101号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう!

風早北部地域ふるさと協議会

本号は4ページです。

あなたご自身・ご家族で 自分の住む場所の危険度をチェックしましょう あなたと家族の命を守る行動を

台風や地震など大規模自然災害の対策として、(1)平時に自宅周辺の状況を①柏市防災カルテ/診断マップやハザードマップ(右記②③④)の二次元QRコードから読みとり閲覧可能)で地震・洪水・土砂災害マップ【6種類】を確認してみましょう。

能登半島大地震から1年、東日本大震災から14年が経過します。台風シーズンが過ぎた今こそ、対応をしっかりと考えておきましょう。

防災カルテ①



洪水マップ③
(2種類)



地震マップ②
(3種類)



土砂災害マップ④



また、(2)災害発生時にはリアルタイムでの発災状況を気象庁の「あなたの街の防災情報」や災害危険通報サイト「キキクル」(両サイドのQRコードで閲覧可能)で理解することが奨められています。

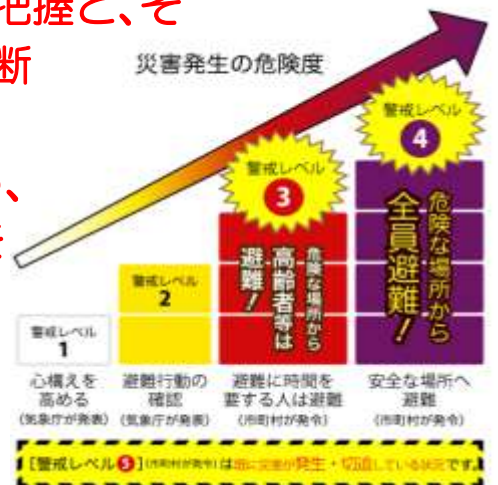
気象庁発信柏市防災情報



キキクル

そのうえで各住民に求められる基本行動3点

- 自治体が発信する5段階の警戒レベルの把握と、そのうちのレベル3やレベル4での避難判断【右図説参照】
- 家屋周辺の自然環境の変化(いつもと違う、こんな事いままでも経験したことがない)を見極める
- 家族やご近所の避難呼びかけに敏感に反応することが大切です。



★避難行動を想定した準備のチェックリスト★

- 避難場所を決め・避難路を考え・家族やご近所でこれを共有しましょう
- 基本は**徒歩移動**です。水害や土砂災害が起こりやすい場所は避けましょう
- **家族の相互連絡法**(はなればなれの際の安否の確認方法※)を理解しておきましょう。※災害伝言ダイヤル「171」、ラインでの「位置情報」機能などを活用しましょう
- 実際に自分達目で確認するため、**避難経路を避難所まで歩いてみましょう**
- 上記の訓練により頭で描いていたことと異なる場合は、危険性の有無を確認しておきましょう
- **非常時の持出し品**を用意しましょう。風水害時の避難所には食料/飲料水/毛布等の防寒具は原則用意がありません。自分で避難人数分を用意しましょう
- 上記6項目につき「**我が家の防災メモ**」にして**家族内で共有・保管**し、いざという時にすぐ参照できるようにしておきましょう



風早北部地域は大津川沿いや谷津の耕作地などを除き、高台で安定した土地が広がり、災害の危険性は総じて低いとの一般的な診断がされています。一方で全国的には、過去に経験のない風水害が毎年のように発生していますので、この地域も絶対安全な場所はありません。準備は怠らないように。

★避難行動の応用編 ～マイタイムラインの作成～☆

避難スイッチ(避難すべきタイミング)を決めたら、それを盛り込んだ**災害時の「マイタイムライン(私の防災行動計画)」**を作成しておくことをお勧めします。マイタイムラインに関する詳細は下記のリンク先(QRコード)を是非参照してください。

(1)

(1)千葉県HPで詳細紹介



(2)

(2)国交省関東地方整備局
下館河川事務所HP動画



我が家で地震発生時の安全対策

そのポイント

※ ※本稿出典元:政府広報「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」

阪神淡路大震災、新潟中越地震では、住民が倒れた家具の下敷きとなり、逃げ遅れによる多くの犠牲者を数えました。亡くなる方だけでなく、大怪我をしてその後の避難生活に大きく負の影響を及ぼします。一人で動けなくなることは、周囲の被災者にも負担が増えてしまい、避難生活は労苦ばかりが増えてしまいます。

大きな災害が起きても、絶対怪我をしないことが何よりですし、それを先ずは全住民が考え行動して欲しいものです。家具の転倒対策は以下の通りです。

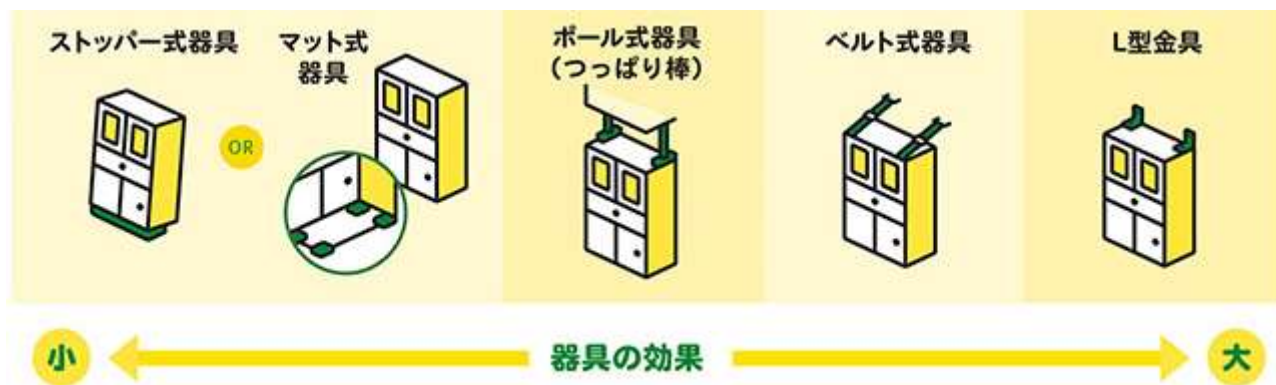
- 寝室・高齢者や子供部屋には大きな家具、背の高い家財を置かない。背の低いものを置く。
- 家具が倒れても、出入口をふさがないように、家具の配置を考える。
- 家具は壁に固定する。
- 家具以外では、窓ガラスや照明(特に電気コードで釣り下げるペンダント式照明)、薄型テレビ、電子レンジ、オーブン、冷蔵庫など、屋内には地震の揺れで凶器に変わるモノが多くあります。
- 手の届くところに、暗がり用の懐中電灯、割れたガラス対策のスリッパや外履き靴、SOS用のホイッスルを備え、避難行動に繋げましょう。



《タンスへの対処について》

床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具(突っ張り棒)でタンスの奥のほうで固定、あるいは段ボール箱でタンス

と天井の隙間をきっちりと塞ぐ、上限分離型タンスは連結しておく。



《食器棚への対処について》

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には地震の揺れによる開閉防止の留め金をつける。ガラスの表面に飛散防止フィルムを貼る。

《テレビへの対処について》

粘着マットを敷いて転倒防止、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する。



重要な情報源のテレビは壊れないよう優先して固定、転倒防止を！

《冷蔵庫や洗濯機への対処について》

裏側をワイヤーなどで壁に固定する。

《窓ガラスへの対処について》

強化ガラスに替える、飛散防止フィルムを表面に貼る。カーテンを閉めておくことで、室内に割れたガラスが飛散することをできるだけ防ぐ。割れたガラスの上を歩くことを想定し、スリッパ、内履き靴を身近に、特に寝室内に用意しておく。



災害時には絶対怪我をしないこと。特に高齢者の方は必須です。命を守り、大難を逃れましょう。

防災ネットしょうなんは今月から毎月15日に1号発行と変わりました